

ひ 広 報 天 龍

第 84 号

2001年8月30日

私たちの村
— 8月1日現在 —
人口 2,254 人
男1,046人 女1,208人
世帯数 973 世帯

発行 天龍村役場
編集 総務課
印刷 斎藤印刷所

海外研修事業中学2年生カナダへ



小学4・5・6年生ドラゴンのまち交流事業



北海道北竜町へ訪問

滋賀県竜王町から受入れ

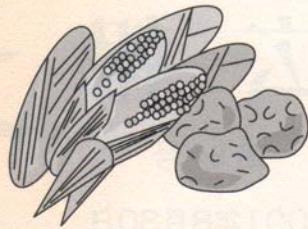


(関連記事は 4・5 ページ)

農業に関するご相談ください

たとえば

- ・水田を駐車場にしたい
 - ・畠へ墓地を作りたい
 - ・農地を人から買いたい(売りたい)
 - ・野菜が病気になった
- など、農地や営農に関することや農業技術に関することは、お気軽に地区担当の農業委員へご相談ください。



平成13年8月現在

農業委員氏名	電話番号	担当地区
遠山全洋	32-2711	為栗、折立、清水
宮澤悟	32-2452	西原
宮澤昭男	32-2471	東原A、東原B
野竹邦彦	32-2650	余野、中央、北、本町
大平林治	32-2607	岡本、南上、長野
宮澤さと子	32-2045	長野町、南中、南下、栄町
大平龍雄	32-2490	松島、長沼、長島宇連
橋場公宣	32-2310	鷺巣、十久保、中組
大平弘甲	32-3430	下山、中井侍、途中上平、鷺巣宇連
堤本利光	32-3466	坂部、福島、倉の平
長澤豁郎	32-3115	向方、峠山
田村正統	32-3301	大河内、梨畠、見遠
平松和子	32-3467	戸口、大久那、合戸

去る七月十一日に第二十八回長野県茶の共進会が高森町にある県南信農業試験場において開催されました。今年度は、総出品数六十五点の中から審査が行われ、村内関係者の入賞者は次のとおりです。

茶の共進会行われる!!

◎二等賞	中井侍	大平	弘甲さん
◎努力賞	鷺巣宇連	鎌倉	喜璋さん
た。大変、おめでとうございまし	中井侍	森下	英人さん
た。中井侍	原田	浜子さん	

この事業は、補助率が国、県併せて八十五%と高く、現在までに、農道梨畠線、鷺巣活性化施設、防火水槽四箇所が整備され、今後も大河内、西原の農道、村道十方峠線、川島農村公園、清水、原地区の井水整備を順次進めていく予定です。

又、平成十五年度より二期分として総事業費九億四千三百万を見込み次の事業を予定

ます。平成九年度から南信濃村と連携して、中山間地域の農業振興目的として農林水産省の補助事業である県営中山間地域総合整備事業を行っています。

県営中山間事業について

しております。

・向方地区井水更新
・坂部、折立農道改良
・村道折立線改良
・向方水道施設更新
・防火水槽建設(折立)
・坂部活性化施設建設
・同報無線施設更新

いずれの事業も詳細については未定です。

又、事業を実施することができるので、事業が円滑に進捗できますよう地区並びに関係地権者の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

正式に決定しましたら、関係者に対し説明したいと思いま



阿南高校生との交流

○日時 九月十日(月)
○場所 老人福祉センター
珍床劇団と、歌謡ショーなど
の余興も用意しています。村
の敬老行事として開催します
ので、皆様お誘い合わせの上

敬老大会開催

ご参加下さい。



阿南高校福祉コース生徒との交流

平成十二年 十月から介護保険料の満額徴収が始まります

話している気分になっている人もいて大変楽しそうでした。

が、養護天龍荘を訪問され、お年寄りとふれあいの時間を深めました。最初はお互い恥ずかしそうに、遠慮気味でしたが、時間が経つにつれ、笑い声も出て戦争の話を得意げにしている人、孫と

福寿コースの皆さんが、帰る時にはお年寄りが玄関へ見送りに出て「又、来てくんないよ」と声を掛け、手を振り、別れを惜しんでいました。福寿コースが、開設されてから年一回

の交流の場ですが、お年寄りも毎年楽しみにしています。高校生の皆さんも、お年寄りの心身の特徴や、生活の様子を、こういった体験を通して学んでいただき、今後の学習に役立てていただきたいと思います。

労災年金福祉協会では、厚生労働省の委託を受けて、仕事のことや疲れからくる健康のこと、「過労死」及び「精神障害」による自殺等に関する細かな相談に応じております。秘密は厳守され、相談は無料です。

お気軽にご相談を

お電話でのご相談は、
○一二〇一
六〇三一一四へ

労災年金相談室
長野労災年金相談室

〒三八〇一〇九三六
長野市中御所岡田一八〇一二
住友生命長野岡田町ビル3F

十三年十月からは、特別対策が終了するため、保険料の満額を納めていただくようになりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。保険料は従来のほぼ倍になりますが、昨年度の所得により増減することがありますので、ご了承下さい。

給されている人は、年金から歳以上の方について、保険料を軽減する特別対策を実施してきました。制度が始まっています。平成十二年四月から九月までの半年間は保険料を免除、平成十二年十月から平成十三年九月までの一年間は、保険料の半額を免除しますが、平成十三年十月からは、特別対策が終了するため、保険料の満額を納めていただくようになりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。保険料は従来のほぼ倍になりますが、昨年度の所得により増減することがありますので、ご了承下さい。

役場へ納めて頂く方

老齢(退職)年金が、年額十八万円未満の方、遺族年金、障害年金を受給している方、年度途中で六十五歳になった方は役場へ納めていただきます。

◎保険料の納め方について

保険料の納め方には、年金天引きの方と役場へ納めて頂く方の二通りがあります。

年金天引きの方
年金額が一年間に十八万円以上で老齢(退職)年金を受



平成13年度 天龍村ドラゴンのまち 交流受入・派遣事業

～滋賀県竜王町から小学生国内交流派遣団が来村されました。～



焼肉

二日目は、平岡ダム・発電所の見学、和知野川での川遊び、又、大河内森林公園での元気一杯でホストファミリーとの一夜を楽しく過ごしました。

初日は、歓迎式・児童交流会を終え、竜王町の子供達も元気一杯でホストファミリーとの一夜を楽しく過ごしました。

十七日金までの三日間、滋賀県竜王町から林教育次長さんを団長とし、十六名の派遣団が天龍村を訪れ、村側では天龍小学校四・五・六年生三十名の児童が全員参加する中で、交流会を行いました。

竜王町

キャンプでは、キャンプファイヤー・花火と交流を深めました。

三日目のお別れ集会では、

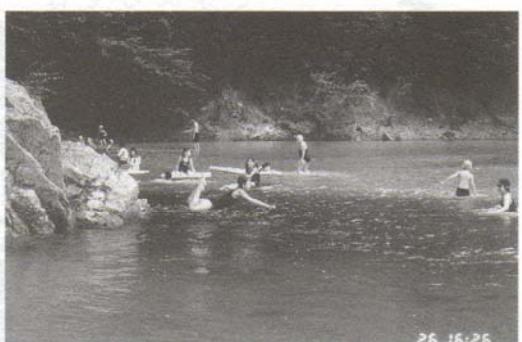
共に別れを惜しむ子供達の姿が印象的でした。

北竜町

三日目のお別れ集会では、別れを惜しみながら、楽しかった思い出を語っていました。



児童交流会



川遊び



ひまわりの里 迷路挑戦

二日目は、朝早く天龍村を出発し、名古屋空港から飛行機にて北海道へ向かいました。子供達は長旅の疲れも見せず歓迎式を終え、宿泊先の青年の家では、アイスクリーム作りなどの体験をしました。

三日目までの三日間、天龍小学校五年生十一名を中心とした天龍村ドラゴンのまち交流派遣団（教育長を団長に総勢十八名）が北海道北竜町を訪問してきました。

初日は、朝早く天龍村を出発し、名古屋空港から飛行機にて北海道へ向かいました。子供達は長旅の疲れも見せず歓迎式を終え、宿泊先の青年の家では、アイスクリーム作りなどの体験をしました。

二日目は、児童交流会後、観光地「ひまわりの里」にて迷路への挑戦をしました。見学では郷土資料館へ行き、スボーツ交流ではパークゴルフを楽しみ、夕食ではジンギスカンパーティーを行いました。



児童交流会（室内レク）



歓迎式

力ナダでの感動的な研修

去年から実施した中学生の海外研修は、今年はカナダのブリティッシュ・コロンビア(BC)州の西海岸を目的地として行われました。今年の研修団員は、天龍中の二年生全員と団長の田中校長先生を含む四人の引率者で、七月三十日から八月八日までの八日間の滞在でした。

目的は昨年同様、生の英語や異なった生活・文化・歴史などを体験する機会を通して、二十一世紀に非常に重要な多文化感覚を養うことでした。その実現により近づくために、本年から英語学校とホームステイを日程に加えた研修としました。



市内の公園にて

パーク、ガス灯が立つ石畳の道や大型蒸気時計のあるバンクーバー発祥の地ギヤスタウン、東京の日比谷公園の約二十五倍の面積でBC州の先住民各部族を象徴するトーテムポールも立つスタンレー・パーク、などを散策した一日でした。

二日目からの研修地は州都のビクトリア市に変わって、研修の目玉が始まりました。午前中は英語学習、午後は見学活動、晩はホストファミリーと共に過ごす、というのが基本的なパターンで、英語学校ではホームステイや活動に役立つ表現などを習いました。

活動では、水泳、アイススケート、ウェール(鯨)ウォッキング、カナダ騎馬警察隊の訓練ショー、ビクトリア女王・

一日目の
研修地は、
カナダの玄
関口バンクー

バト市。花々
や水が豊か
で眼下に広
がる町や遠
くの山々が
眺められる
クイーン・
エリザベス・

ダイアナ・明治天皇などの有名人がろう人形で展示されるロンドンろう博物館、BC州の自然史・歴史・先住民の文化史などを紹介する州立ロイヤル博物館、林業の博物館やモデル原生林で汽車乗りツアーや、八十年代に林業の衰退と共に寂れた町を再開発したシユメイナス町でBC州の多民族史をテーマにした壁画を見学、というようにカナダ事情の今昔に接する価値の高い研修が

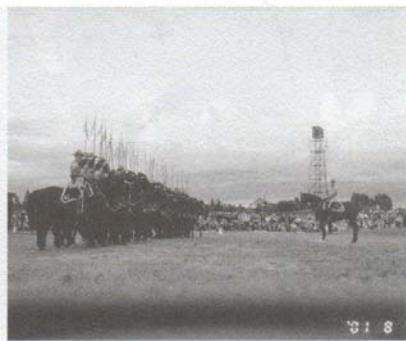
できました。

もっとも有意義な研修はホームステイでした。生徒達はファミリーと一緒に食事をしたりお手伝いをしたりして日常生活体験ができ、異文化に対する理解を深めることができました。生徒達が実際に体験

した。この言葉が今年の海外研修がいかに感動的だったかを物語っているように思いました。



1000年以上の樹木の下で



カナダ騎馬警察隊



多民族史の一面を壁画で



ロンドンろう博物館



さよならパーティーでの楽しい交流



ハッピーファミリー



"Nice to meet you, too"

不安定な天候でしたが 2001年 ふるさと夏祭り 盛大に開催



オモチャがたくさん どれにしようかな

本年も、八月十五日(休)に第十六回目の「ふるさと夏まつり」を開催しました。本年は不安定な天候であつたため、実施場所を役場地下と老人福祉センターに変更しましたが、多くの皆様にご参加いただき、盛大に開催する事が出来ました。

夏まつりの内容は、お楽しみ抽選会・園京子歌謡ショー・盆踊り・花火・夜店で賑やかに実施することができました。ご協力いただきました役員の皆様に厚くお礼申し上げます。



園京子歌謡ショー



盆踊り



特賞おめでとうございます



上手に出来たかな（木工作）

その、みどりの少年団で年に一度行われる「飯伊地区みどりの少年団交流集会」が八月一日(休)喬木村の「九十九谷森林公園」で十三団、約三百人のみどりの少年団員参加の

みどりの少年団は、森林についての学習やボランティア活動を通して自然愛護の意識を高める自主組織であり、現在、飯伊地域には十市町村、十三団体で約四百人の団員がそれぞれの地域で活動しています。

みどりの少年団は、森林に

交流集会に参加しました

下行われました。

当日は、各団の活動発表の

あと木工作（シラカバの名札とバードコール（鳥笛）を作り、午後には他団の団員と同じグループを作り森林公園の中を歩きながら森林に関するクイズを解くクイズラリーが行われました。一日という短い時間ではありましたが、他の少年団との親睦が深められたことと思います。



答えはどれだ？（クイズラリー）

天竜川ゆめると21世紀 50市町村スタンプラリーのご案内

「天竜川ゆめると」は、諏訪湖から遠州灘に至る市町村の人々の交流の新しいあり方と「鉄道・河川・道路」を通じ、「人・文化・歴史」の関わりを考えながら、地域文化の活性化をはかるとしています。

二十一世紀五十市町村スタンプラリーは、天竜川流域の地域交流と連携を推進する取り組みの一つとして実施します。

天竜川流域の最北端、靈峰富士山が遙拝出来る諏訪郡富士見町から、白堀の掛塚燈台黒潮おどる太平洋、最南端の磐田

○ハーフコース
二十五箇所以上のスタンプを集めます。

水は人間が生きていく上で不可欠なものです。下流の都市圏では天竜川の水を浄化しそれを飲料水として用います。この地域に住む我々には天竜川の水を飲むということは想像もつきません。

今や水もペットボトルで売られている時代となりました。が、市販の自然水に頼ることなくおいしい水を飲めること

○テンテンコース
十箇所以上のスタンプを集めます。

一箇所に設定されたラリーとスポット(スタンプ置場)を期限内に回り、指定のスタンプ台紙にスタンプを集めて応募して下さい。コースは次の三つ用意しています。

山の緑に育まれた清流がそこにある様々な生物に命の源を与えています。そこにすむ我々もその恩恵を受け生活しているのです。いつまでもきれいでおいしい水を飲めるように、川や森を大切に

郡竜洋町まで、ゆめると五市町村は、地域独特の文化・歴史の宝庫であります。

スタンプラリーにより五市町村の文化や歴史の再発見、また地域との交流により「こころ」と「こころ」を繋ぎます。

好きなコースを選び参加することが出来ます。また、五企業から多数の商品を用意しましたのでふるってご参加下さい。

○実施期間
平成十三年四月二十日から平成十三年十一月三十日まで

天竜川ゆめると実行委員会事務局
伊那市大字伊那六七八
電話〇二六五
(七四)八五五五

天竜温泉おきよめの湯とふれあいステーション龍泉閣に置いてあります。

天竜温泉おきよめの湯とふれあいステーション龍泉閣に置いてあります。

○お問い合わせ先
天竜村役場建設課建設係
電話三二一一〇〇一
天竜川ゆめると実行委員会事務局
伊那市大字伊那六七八
電話〇二六五

天竜川河川清掃実施
例年七月の河川愛護月間に、各地域の天竜川や河川敷の清掃が行われております。

当村でも去る七月三十日㈪、村職員、飯田河川出張所及び遠山川砂防出張所職員合同で、松島護岸及び鶯巣天竜橋付近を中心河川清掃を実施しました。



短時間で軽トラック一杯分のゴミ



おいしい水をいつまでも

**猛暑の中大健闘!!
飯伊消防技術大会開催**

**九月一日は「防災の日」
地震総合防災訓練!!**

まちづくり標語募集について

事務所 調査課
☎〇二六五一八一六四一五

調査にご協力ください

七月二十二日、平成十三年度飯伊消防技術大会が平谷村総合グラウンドを会場に行われました。

「ポンプ操法の部・小型ポンプ操法」に出場した第二分団と「ラッパ吹奏の部・Cグループ」に出場したラッパ班は、五月中旬からそれぞれ夜間の練習を積み重ね出場し、大健闘しました。

尚、成績については次のとおりです。

ラッパ班
Cグループ二位
小型ポンプ操法の部
二十四位

なお、当日は九時三十分に防災行政無線により警戒宣言が発令されますので、村民の皆様は指定避難場所への避難を行っていただき、消防団・日赤奉仕団の指示のもと、訓練を受けて下さい。

多くの方の参加をお願い致します。

むらづくり大賞ができる

方々のために

地域づくりに頑張つておられる

この度村では、村民一人ひとりが、誇りと生きがいを持つ生活できる地域にしようと、するための自主的な活動(事業)に対し助成金を支給する制度をつくりました。

助成金の額は、対象事業にせいたします。

天竜川流域ネットワーク (テネット)に参加しませんか?

天竜川上流工事事務所では、水や川の環境・文化・歴史・市民活動に興味のある皆さん

要する経費の二分の一以内で、限度額は三十万円です。

後日、村内回覧等により、助成希望団体等を募りたいと

思いますので、その際は振るつて応募下さいますようお知らせいたします。

(参加資格)

天竜川流域(諏訪湖流域も含む)に関心のある個人・団

国土交通省 天竜川上流工事事務所

・お問い合わせ先

H.P. <http://www.tenryugawa.org>から申し込まれるか、メール jimukyoku@tenryugawa.orgへ参加したい旨のeメールをください。

体の方なら誰でも参加できます。参加は無料です。
(参加方法)

調査の結果は、国や地方公共団体などにおける各種行政施策の立案や民間における事業計画等の策定の基礎資料として、多方面に利用されます。九月下旬から調査員が各事業所を訪問して、調査票の記入をお願いしますので、調査にご協力ください。

特選・国土交通大臣賞・賞状、副賞(賞金5万円)
児童・生徒の部(中学生以下)特選・国土交通大臣賞・賞状、副賞(3万円相当の図書券)

この調査は、統計法に基づいて行われる調査で、全国すべての事業所を対象とした国最も基本的な統計調査の一つです。

会社も、お店も、学校も、病院も。
事業所・企業

統計調査

平成13年10月1日(月)

9月下旬から調査員がお伺いします。

問い合わせ先 総務課企画財政係
TEL32-2001 内線222

村づくりのご意見は、Eメール ikenbox@vill-tenryu.jp